the Meiji Restoration in Japan
YAMAGUCHI Times
2014 壱 2015

Achievement 偉業

They performed a great feat.

01 木戸神社 必見

木戸孝允は亡くなる前に自邸と山林を子弟の学資にと村民に与えました。これに感謝した地区の人々により、1878(明治11)年、邸宅跡に建立された神社です。

02 普門寺 必見

鴻の峯の麓に建つお寺。江戸末期、この寺の観音堂で、大村益次郎は幕府軍を迎え撃つため長州藩士に西洋式軍隊の士官養成をしていました。

03 旧山口藩庁門 必見

県指定有形文化財

第一次長州征伐により破却された山口城の修改築は、慶応元年から始まりました。実戦的な石門に代わるこの門の竣工は1870(明治3)年です。版籍奉還後の事で、時すでに新政府の一藩庁となっていました。

04 洞春寺 必見

国指定重要文化財(山門・観音堂)

この寺は1572(元亀3)年の春、毛利元就の菩提寺として安芸国吉田の城内に創建され、幕末に萩から現在地に移ったものです。井上馨を総督とする潤城軍の屯所にもなりました。

05 香山墓所 必見

国指定史跡

毛利本家の墓所で、幕末から明治初年にかけての藩主、毛利敬親が居城を萩から山口に移して以降の墓地として使用するために造成されたもの。敬親もここに眠っています。

06 枕流亭 必見

一の坂川の安部橋近くにあった、山口の旧家・安部家の離れ。西郷隆盛、大久保利通らが訪れ、木戸孝允らと薩長連合の密議が行なわれていたと伝えられています。

07 露山堂 必見

毛利敬親が藩庁を山口に移した際、現県庁内の一露山の麓に建てられた茶室。敬親が茶事にことよせ、家来らと討幕の密議をこらした建物です。1891(明治24)年現在地に移築されました。

08 錦の御旗製作所跡

鳥羽伏見の戦いで薩長軍の陣頭に立てられた錦の御旗を製作したといわれる場所です。当時この一の坂川河畔に養蚕所があり、その2階で製作されたといわれています。

09 豊栄神社

毛利氏の中興の祖、元就を祭神とする神社。萩城内にあったものを、1869(明治2)年に山口に移したものです。この年、朝廷より元就の神霊に豊栄の神号を賜りました。

10 野田神社 必見

毛利敬親の諡号より忠正神社と称したのに始まる神社。その後、鎮座する地の地名から現在の野田神社に改称し、1886(明治19)年に現在地に遷座しました。

11 十朋亭 必見

代々醤油製造を業とした萬代家の離れ。萬代家は藩の役人たちの宿泊所となり、桂小五郎、高杉晋作、久坂玄瑞ら、多くの維新の志士の来客があったと伝えられています。

12 法界寺

吉田松陰とともに勤王運動に尽くした中谷正亮の墓がある寺。正亮は松陰の死後、松下村塾を主となって運営した人物。東京世田谷の松陰神社にある墓の分け墓です。

13 山口明倫館兵学寮跡

藩主上田鳳陽は時代の進展を見て、後の山口明倫館となる山口講堂を創立しました。この地には歩兵・騎兵・砲兵の三兵塾からなる兵学寮がありました。

14 来島又兵衛の碑

1863(文久3)年、又兵衛は京都進発のため遊撃隊を結成し、国事にあたりました。亀山にあるこの碑は毛利元昭篆額、井上馨撰文、野村素介書。

15 亀山公園

1900(明治33)年亀山の頂上を公園化し、毛利敬親らの銅像6基が建てられました。銅像は太平洋戦争中に金属回収のため供出。現在の敬親像は戦後再建されたものです。

16 長寿寺

高杉晋作の功山寺決起に呼応して、1865(慶応元)年正月、御楯隊の駒井政五郎が潮城軍を組織し、本部を置いたのが、ここ長寿寺です。

17 山口市菜香亭 必見

1877(明治10)年頃創業の料亭菜香亭を移築復元したもので、初代青藤幸兵衛が藩主と共に山口に移り、開業しました。大広間には伊藤博文・木戸孝允・井上馨・山縣有朋・山田顕義・三条実美・杉孫七郎・大島圭介等、幕末から明治にかけて活躍した人々の書を展示しています。

有料　火曜休館

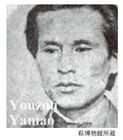
明治維新150年

明治維新の表舞台で活躍した多くの志士を輩出した長州藩。幕末に倒幕運動が起こり、江戸幕府の幕藩体制から明治新政府による中央集権統一国家へと、大きな変革が起こりました。1863(文久3)年、藩主・毛利敬親が萩から山口に居を移して以降、曲折はありましたが、山口は政務の枢地であり明治維新の策源地となりました。

2018年、明治維新から150年という記念の年を迎えます。山口商工会議所では、2018年までの5年間、明治維新150年記念事業として、現在も明治維新の史跡が遺っている山口市の歴史・文化を県内外に広く発信します。今春も「山口お宝展～明治維新150年記念事業～」を開催致します。

【山口出身の志士たち】

野村素介



1842～1927
吉敷郡長野村(山口市大内長野)出身。1866(慶応2)年、家督を継ぎ、藩主毛利敬親の側近として活躍。維新後は茨城県知事・元老院議官などを歴任した。能書家としても広く知られ、多くの書を残している。

井上馨

山口県立山口博物館所蔵

1835～1915
吉敷郡湯田村(山口市湯田温泉)出身。1863(文久3)年、山尾庸三らとともにイギリスに渡航。維新後は明治政府に出仕し、外務・臨時総理・大蔵大臣など要職を歴任。経済界においても強大な発言権を持った。

杉孫七郎

山口県立山口図書館所蔵

1835～1920
吉敷郡御堀村(山口市大内御堀)出身。1861(文久元)年、幕府の遣欧使節団に随行し西欧諸国を視察。維新後は主に宮中で活躍。ユーモア溢れる好人物で、多くの人から慕われた。能書家としても広く知られている。

山尾庸三

萩博物館所蔵

1837～1917
吉敷郡二島村(山口市秋穂二島)出身。1863(文久3)年、井上馨らとともにイギリスに渡航。維新後は明治政府に出仕。東京大学工学部の前身である工学寮の設立を提唱するなど、近代工業の確立に尽力した。

大村益次郎

Masujirou Ohmura

1824～1869
吉敷郡鋳銭司村(山口市鋳銭司)出身。1846(弘化3)年、大阪の緒方洪庵の適塾に入門、後に塾頭となる。優れた兵学者としても知られ、四境戦争や戊辰戦争では指揮官として活躍した。酒と豆腐をこよなく愛した。

福田侠平

東行庵蔵／下関市立東行記念館委託

1829～1868
吉敷郡山口町後河原(山口市後河原)出身。1863(文久3)年、奇兵隊に入隊。後に参謀・軍監(副将)へと累進。若き隊士からの信頼も厚かった。没後は東行庵に葬られたが、有志により大内御堀にも墓が建てられた。

【山口ゆかりの志士たち】

高杉晋作

Shinsaku Takasugi
国立国会図書館デジタル化資料より

1839～1867
1863(文久3)年6月、山口政事堂で藩主に対し奇兵隊創設案を建言した。1866(慶応2)年、家族のために白石に自宅を建築しようとしたが完成を見ることなく没した。鰐石町や江良下竪小路に住んでいた時期もあった。

井上勝

Masaru Inoue
国立国会図書館デジタル化資料より

1843～1910
1863(文久3)年、井上馨らとともにイギリスに渡航。鉱山学や鉄道の実業を学んだ。1868(明治元)年、明治政府に出仕し、鉄道頭となり、各地の鉄道敷設を指揮した。旧宅は下小鯖稗畑にあったと伝えられている。

木戸孝允

Takayoshi Kido
国立国会図書館デジタル化資料より

1833～1877
維新三傑のひとり。1867(慶応3)年9月から10月にかけ、枕流亭や湯田温泉の旅館松田屋で薩摩藩の西郷隆盛・大久保利通らと討幕について協議した。糸米にあった自宅と山林は臨終にあたり村民に寄付された。

伊藤博文

Hirobumi Ito
山口県立山口博物館所蔵

1841～1909
1863(文久3)年、井上馨らとともにイギリスに渡航。翌1864(元治元)年帰国の際には下関小路の十朋亭に寄宿した。1885(明治18)年、内閣制度が発足するや初代内閣総理大臣に就任。国政に尽くした。

周布政之助

Masanosuke Sufu
山口県立山口博物館所蔵

1823～1864
井上馨や高杉晋作ら若手の良き理解者。禁門の変・長州征伐・下関戦争と相次ぐ情勢の悪化により追い込まれ、1864(元治元)年9月、吉富簡一宅で自刃。遺言により石州街道沿いに墓が建てられた。杉孫七郎は甥。

久坂玄瑞

Genzui Kusaka

1840～1864
松下村塾では高杉晋作と並び双璧と称され、吉田松陰から防長年少第一流と絶賛された。1864(元治元)年7月、禁門の変で敗れ、薩摩邸で自刃した。十朋亭を離れとする萬代家には、常用の湯飲み茶碗が保管されていた。

山田顕義

Akiyoshi Yamada
山口県立山口博物館所蔵

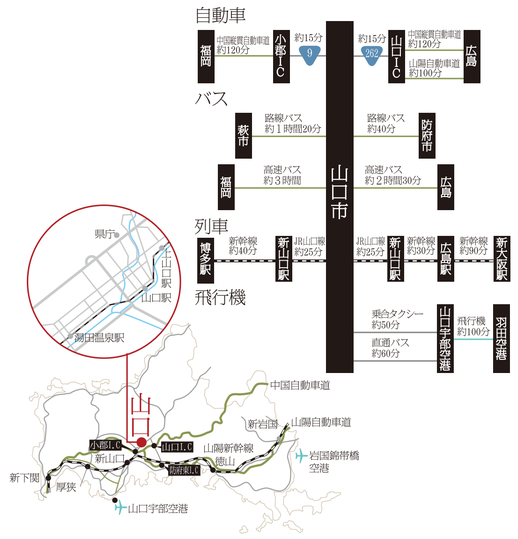
1844～1892
松下村塾出身。幕末には久坂玄瑞らとともに尊王攘夷運動に奔走した。維新後は初代司法大臣に就任。その後は日本大学や國學院大學の前身を設立し教育にも尽力した。旧宅は白石と中央にあった。妻、龍子は湯田温泉の旅館瓜屋の娘である。

堀真五郎

現萩市所蔵(「金策国」マツノ書店発行)

1838～1913
1863(文久3)年4月、高杉晋作とともに京都より帰藩。その後、高杉の奇兵隊結成に呼応し、八幡馬場で八幡隊を結成、総督となる。維新後は裁判所に出仕し、1890(明治23)年には大審院判事に昇進した。

Access アクセス



タクシー

大隅(おおすみ)タクシー	TEL 083-922-0860
いさむや第一交通	TEL 0120-39-1368
中司タクシー	TEL 083-922-0812
スミスハイヤー	TEL 083-922-1881
湯田都タクシー	TEL 083-922-0232
山野タクシー・山口交通	TEL 0120-501-940
フラワータクシー	TEL 083-928-2878

主催　山口商工会議所　明治維新150年記念事業実行委員会　後援　山口市 山口市教育委員会
お問い合わせ　山口商工会議所　TEL 083-925-2300　http://otakaraten.com/

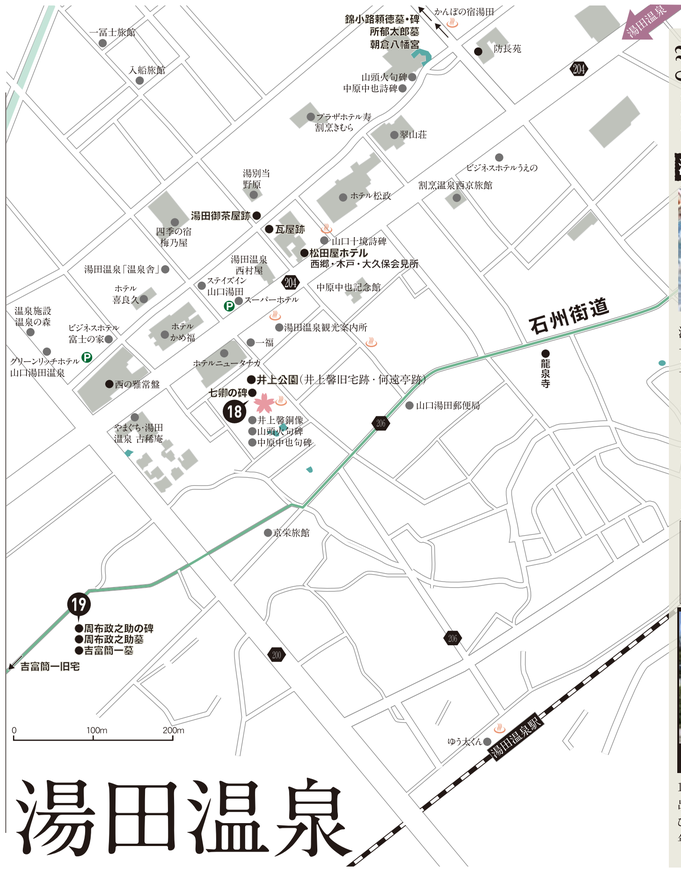
明治維新策源地
山口市
明治維新150年　2018年

1863(文久3)年、長州藩主・毛利敬親公は、藩庁を萩から山口へ移しました。このことがきっかけとなり、山口は明治維新の策源地となりました。討幕運動と維新の変革を成し遂げるうえで、大きな役割を果たした山口のDNAを、まち歩きしながら、見て・食べて・温泉につかってご体感ください。

1863, Choshu feudal lord Mohri Takachika was transferred the head quoter of Clan from Hagi to Yamaguchi .
From that period Yamaguchi become base of the Meiji Restoration movement.
Please walk around town of Yamaguchi with food and hot spring bath.
And touch the great experience of Yamaguchi DNA where effect a reform Anti Shogunate and Meiji Restoration !!

大殿・白石・湯田地区周辺

湯田温泉



Yuda-spa [湯田温泉宿泊特典]

湯田温泉の泉質はアルカリ性単純温泉です。無色透明の湯でアルカリ性が9.14phと高く、古い角質をとってくれるクレンジング作用があり、洗顔後のすべすべのお肌のようになることから、「美肌の湯」といわれています。

湯田温泉宿泊者限定

湯田温泉 ふくまつり
2014年12.1(月)-2015年4.5(日)
ご夕食に一品以上のふく料理が含まれます。
★ふくのコース料理をご希望の方は前もってお申しください。
★旅館・ホテルにより料理内容が異なります。
宿泊旅館・ホテル以外の宿の温泉に入浴できる温泉入浴券もプレゼント！
★12月28日(日)～1月4日(日)を除く。
詳しくは 湯田温泉 検索
http://www.yudaonsen.com/
湯田温泉旅館協同組合
TEL.083-920-3000
(9:00～16:00 休／土日祝)

手ぶら観光サービス
2015年3.31(火)まで
◆手荷物受付場所／時間
新山口駅観光案内所(2階新幹線改札横)
／9時～14時
◆宿泊先手荷物到着時間
16時頃(各宿泊ホテル)
ご宿泊客様の手荷物を新山口駅観光案内所から宿泊する旅館・ホテルへ無料でお届けします。
詳しくは
(一財)山口観光コンベンション協会
TEL.083-933-0088
(9:00～17:30 休／土日祝)
http://yamaguchi-city.jp/

12月、山口市はクリスマス市になる。
イルミネーション
2014年12.1(月)-2015年4.5(日)
期間中、観光案内所、湯の香通りの足湯、湯田温泉の街をイルミネーションが彩ります。

18 七卿の碑(井上公園)

1863(文久3)年の政変により、御所への出入りを禁じられた七卿は、長州に落ちのびました。1926(大正15)年七卿落ち60年を記念してこの碑が建てられました。

19 周布政之助の碑(周布公園)

政之助は毛利藩の重臣。村田清風のあとを継いで安政の改革を進めた、正義派を代表する人物です。1864(元治元)年、蛤御門の変の責任をとって自刃。自刃した場所の近くに建つ功績を讃える碑、亀山にも石碑が建てられています。

Event イベント

山口お宝展情報

山口お宝展
The treasure of Yamaguchi
明治維新150年記念事業

【期間】平成27年2月28日(土)～4月5日(日)
【場所】大殿・白石・湯田地区周辺

明治維新から数えて150年という記念すべき2018年に向け、明治維新の策源地となった山口では、ゆかりの建造物やお宝を一挙公開します。

ジャパン歴食サミット・プレ大会

【日　時】　平成27年2月28日(土) 13:30～
【場　所】　ニューメディアプラザ山口
【ゲスト】

俳優
辰巳琢郎氏

國學院大學 名誉教授
二木謙一氏

全国各地の歴史的に価値ある食、「歴食」が一堂に会し、事例発表や、辰巳琢郎氏・二木謙一氏による「歴食」をテーマとした特別対談、江後迪子氏による「平成大内御膳の再現」についての講演等を開催します。

お問い合せ先
山口商工会議所　TEL 083-925-2300 (月～金9:00～17:00 ／土9:00～12:00)

期間限定ガイドツアー

維新策源地ウォーク

【期間】2014年12月～2015年3月の土・日・祝日
(年末年始は除く)

◆集合・解散／国宝瑠璃光寺五重塔(集合時間13時)
◆最少催行人数／2名
◆料金／お1人様500円(語り部ガイド料)
◆行程約5㎞(約3時間)
国宝瑠璃光寺五重塔 → 枕流亭・露山堂 → 洞春寺 →
山口藩庁門 → パークロード →
周防明倫館兵学寮跡・山口御茶屋跡 → 十朋亭 →光台寺 →
清末藩長屋門 → 錦の御旗製作所跡 → 国宝瑠璃光寺五重塔

1863(文久3)年、萩から藩庁が移鎮してきた山口には、政事堂や藩の教育機関などとともに、多くの志士たちが各地から集まり、抗幕に向けて密議を交わし、力をつけていきました。そのことから、山口は明治維新を支えた「策源地」と言われるようになりました。このツアーでは、語り部と一緒に「維新策源地やまぐち」を歩きます。

ご予約・お問い合せ先
(一財)山口観光コンベンション協会　TEL 083-933-0088 (9:00～17:30 休／土日祝)

歴史アクティビティ

第1回 幕末維新小学生ウルトラクイズ

【日　時】　平成27年3月7日(土)
9:00～11:30(8:30現地集合)
【場　所】　維新百年記念公園アリーナ

◆参加資格／山口市内小学校5、6年生対象。3人1組で参加。
◆申込／各小学校で「ウルトラクイズ参加申込書」を入手して記入の上、小学校へ提出してください。
◆最優秀、優秀チームには豪華景品プレゼント！

大村神社

維新フォトロゲ第2幕

【日　時】　平成27年3月22日(日)
【場　所】　山口市南部地域

維新フォトロゲ第2幕は、美祢市の金麗社から、大村益次郎生誕地の山口市南部地域に舞台を遷し開催します。
フォトロゲ(フォトロゲイニング)とは、指定されたチェックポイントの得点を制限時間以内にどれだけ多く集める事ができるかを競う、ゲーム性に富んだ競技です。

お問い合せ先
(一財)山口観光コンベンション協会　TEL 083-933-0088 (9:00～17:30 休／土日祝)

特別講演

講演「山口御屋形の謎に迫る」
講師　桑原邦彦氏

【日　時】　平成27年3月28日(土)
14:00～16:30(ガイドツアー含む)
【場　所】　山口県旧県会議事堂

お問い合せ先
山口商工会議所　TEL 083-925-2300 (月～金9:00～17:00 ／土9:00～12:00)